
インターネット動画で学ぶ 乳がんのこと

『第13期 乳がん体験者コーディネーター(Breast cancer Experienced Coordinator)養成講座』

5月8日(月)受講申し込み開始! (開講日7月6日)

認定 NPO 法人キャンサーネットジャパン (以下、CNJ) は、乳がん医療について科学的根拠に基づいた正しい情報を提供出来る力を身に着けたいと考えている方に向け、インターネット動画で学ぶ『第13期 乳がん体験者コーディネーター (BEC) 養成講座』を開講いたしました。総監修は、昭和大学病院プレストセンター長 中村清吾先生です。 ⇒ <http://www.cancernet.jp/training/bec>

<昨今の現状>

日本における乳がんの患者数は毎年増加を続け、2017年度にはおよそ9万人が新たに乳がん罹患すると予測されています。また、近年、乳がんを公表する著名人の影響で、頻繁にマスコミに取り上げられる機会が増え、乳がんは特に注目されるがん種のひとつとなっています。多くの女性が不安に感じる中、インターネット上の情報は玉石混交で必ずしも正しい情報とは限りません。一方、遺伝子解析の進歩により乳がんのタイプがより細かく分類されるようになったことや、乳がんの新規薬剤が次々と認可されていることなどから、乳がん治療は複雑で、理解するためには相応の知識が不可欠です。

<本講座の特色>

本講座は、乳がんと診断されたことにより直面する課題を、解決できる・あるいは解決に導く既存の信頼性の高い情報にアクセスし、提供できる能力を習得することを目的としています。日本の乳がん治療をけん引する一流の講師陣による20コマの講義を用意しました。前期カリキュラム修了後の試験合格者には、後期授業として少人数による対面講義(ケーススタディ・ロールプレイ)があります。これまでの受講生は500名近くに上り、患者・患者家族のみならず、医療従事者(看護師・薬剤師)、ジャーナリスト、保険・製薬会社勤務者、美容関係者(美容師・ネイリスト)など、多岐にわたります。多くの人の支えにより、がん患者ががんと共生していく社会の構築の一助になれば、と願っています。

[認定 NPO 法人キャンサーネットジャパン]

1991年に、二人の医師により、米国における乳がん患者向け冊子を翻訳・出版・無償配布したことに始まり、以来、FAX、Eメールによるセカンドオピニオンサービス、NCIPDQの翻訳Web公開(現在は終了)等で標準治療の普及に貢献してきました。2001年にNPO法人化、同年ホームページが日経インターネットアワードを受賞。2007年からは組織を一新し、専任事務局を開設し、がん医療の啓発イベントの開催、教育事業等を通して、一貫して「科学的根拠に基づくがん医療の普及啓発」に取り組む。これらの活動を通して、がんと向き合う人々が、自分らしくがんと向き合える社会を実現することを目指している。がんの最新情報発信のため2014年から毎年夏に開催しているCancer Forumは、2,000名以上の参加者が集い、がん患者・家族らのための最大級のイベントとなっている。2016年8月、認定NPO法人となる。教育事業等を通して、一貫して「科学的根拠に基づくがん医療の普及啓発」に取り組む。これらの活動を通して、がんと向き合う人々が、自分らしくがんと向き合える社会を実現することを目指している。がんの最新情報発信のため2014年から毎年夏に開催しているCancer Forumは、2,000名以上の参加者が集い、がん患者・家族らのための最大級のイベントとなっている。2016年8月、認定NPO法人となる。

【第13期乳がん体験者コーディネーター(Breast cancer Experienced Coordinator)養成講座】

認定 NPO 法人キャンサーネットジャパン

担当:大友・荻野 cinbec@cancernet.jp

Tel. 03-5840-6072 / Fax. 03-5840-6073